2023/5/8
臨海実習用

実習における新型コロナウイルス感染症への対策ガイドライン

（佐渡自然共生科学センター臨海実験所）

新型コロナウイルス感染症への対策のため、臨海実習を履修する受講生の皆さんは、新潟大学の「新型コロナウイルス感染症に関する対応」（下記 URL）を確認すると共に、本ガイドラインの記載事項を遵守するようにお願いします。新型コロナウイルスへの感染リスクがあることを常に意識し、3 密（密集・密閉・密接）を避けた行動を心がけてください。なお、国や新潟県、新潟市、佐渡市などの感染状況によって大学のガイドラインは随時更新されますので、必ず最新版を確認してください。

体調に異常のある場合は無理に参加せず、少しでも不安のある場合は、実習担当教員に相談してください。滞在中に体調が悪くなった場合は、すぐに教職員に伝えてください。臨海実験所教職員と病院の緊急連絡先は末尾に掲載しています。重症化の恐れがある持病等がある人は、必ず事前に実習担当教員に伝えてください。

URL：新型コロナウイルス感染症に関する対応
https://www.niigata-u.ac.jp/university/about/covid-19/

【佐渡来島前（実習開始前 1 週間）】

・実習開始前の 1 週間に発熱や風邪症状がある場合には、必ず佐渡への移動前に実習担当教員に連絡する。新型コロナウイルス感染症への感染の可能性が排除できないと実習担当教員が判断した場合、実習への参加を認めないことがある。

【佐渡島内の移動】

・佐渡汽船ターミナルから実験所までの移動や野外活動のための移動は、チャーターバスと公用車を使用する。乗車中は、必要に応じてマスクを着用し、可能な限り常時外気を取り入れ、会話は必要最小限にとどめる。

【実験所内での実習活動と生活】

・ベッドは予め準備してある場所を使用する。
・宿泊室内にいる間は、必要に応じて窓を開けて換気を行う。
・屋内では必要に応じてマスクを着用するとともに、可能な限り身体的距離を保つなどして密にならないように注意する。また、小まめに手洗いとうがいを行う。

【実習終了後】

・実習終了後、1 週間以内に新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は、速やかに臨海実験所教職員へ連絡する。

2023/5/8
臨海実習用

【感染の疑いがある場合、緊急時の対応】

・感染が疑われる場合や緊急事態が起きた場合には、まず安東と下谷に連絡する。

・下記を参考にして感染の疑いのある者を速やかに隔離すると共に、教職員が佐渡保健所に連絡する。
（引用　厚生労働省 HP https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html）

1. 感染の疑いのある者と他の同居者の部屋を分ける
2. 感染の疑いのある者の世話をする人は、できるだけ限られた方（一人が望ましい）にする
3. 全員がマスクを使用する
4. 小まめにうがい・手洗いをする
5. 日中はできるだけ換気をする
6. 取っ手、ノブなどの共用する部分を消毒する
7. 汚れたリネン、衣服を洗濯する
8. ゴミは密閉して捨てる

【感染者への対応】

・感染が確認された実習参加者は、教員宿泊室 1 を使用して隔離となる。感染者の判断によって、発症日を 0 日目として 5 日間は外出を控えるようにする。

・感染者が不安を抱えないよう、教職員で対応する。また、本人が希望する場合は、保健管理センターに教職員が連絡する。

≪感染が疑われる場合の連絡先≫

・佐渡保健所
0259-74-3403　（平日 午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで）

≪臨海実験所教職員≫

・安東　090-3193-2062
・下谷　090-5179-5753

≪本学の相談先≫

・保健管理センター（平日 8:30～17:15）：℡（025）262-6244
※感染した場合など，不安を抱えている場合は，医師や看護師，カウンセラーが対応可能。

※臨海実験所周辺の医療施設
佐渡総合病院（車で片道 40 分程度）　0259-63-3121
相川診療所（車で片道 10 分程度　休診：土日祝 ＋ 月水午後）0259-74-3121
高千診療所（車で片道 20 分程度　休診：水日祝 ＋ 土午後）0259-77-2022